

うちじま

もゆか

内島萌夏さん (2018年度奨学生)

日比野菜緒さん (2016年度助成事業対象選手)

東レ パン パシフィック オープンテニス2018

アリーナ立川立飛

2018年9月15日(土)～18日(火)

日本最大の国際女子プロテニス大会に参戦！

東レパンパシフィックオープンテニスは、女子の世界トッププレイヤーが参戦する国際大会。今年は直前の全米オープンで優勝した大坂なおみ選手がプレーするということもあって、開催前から勝敗に注目が集まった。

内島さんは高校2年生ながら岐阜県カンガルーカップで準優勝した、次世代期待の

プレイヤー。今回は主催者推薦枠/ワイルドカードでシングルスとダブルスで出場だ。

プロテニスプレイヤーの日比野さんは日本ランキングでは2位の实力者だが、世界の中ではチャレンジする立場でもある。

9月15日に本戦トーナメント出場をかけた予選が始まり、立川の会場へ向かった。



●テニス 試合のルール● 大会HPより抜粋

テニスの試合は、『ポイント』→『ゲーム』→『セット』→『マッチ』の順に進行していく。今大会は3セットのうち、2セットを先に取ったほうが勝利。ポイントの数は、0ポイント→「0／ラブ」、1ポイント→「15／フィフティーン」、2ポイント→「30／サーティー」、3ポイント→「40／フォーティー」、4ポイント→「ゲーム」。

上記の通り、1ゲームは先に4ポイントを取ったほうが獲得するが、お互いが3ポイントずつ取った場合「40－40／デュース」では、次のポイントを取ったほうが「アドバンテージ」となり、「アドバンテージ」を持っているほうが次のポイントを取ると、「ゲーム」を獲得する。つまり、「デュース」になった場合は、どちらかが連続2ポイントを取るまで続く。ゲーム数が6対6になった場合、先に7ポイントを取ったほうがセットを獲得できる行うタイブレークとなる。ただし、ポイントが6対6となった場合は、2ポイント差がつくまで。タイブレークは「0ポイント」「1ポイント」と、点数を数える。

なおダブルスは、ファイナルセットをスーパータイブレークで実施、タイブレークと同様の進め方で10ポイント以上先取した方がセットを得る、つまり試合に勝つ

内島萌夏さん

今の全力で自分の壁を超えていく！ 完敗も明日への糧に

シングルスには予選があり、2試合を勝ち抜くと本戦に出場することができる。ワイルドカードで出場の内島さんの初戦相手はブシャー選手(カナダ)。2014年にウィンブルドン準優勝、世界ランキング5位にもなった選手だ。試合が始まると内島さんの打ち込む球は力強くて、ブシャー選手に引けを取っていないように見える。でも、打ち込んで

も返され、ミスも多くなりあわや0ゲーム！？とハラハラしたが、内島さんは根性を見せてゲームを取ってくれた。結果は完敗だったが、大健闘だった。

ダブルスは本線のトーナメントのみ。相手はチェコのフラバチコバ選手とストリコバ選手。大会第1シードペアに対して、内島さんと林恵里奈さんペアはぶつかっていく立場。

が、序盤3-0と試合をリードしたのは内島さんペアだった。そして、そこから相手ペアを本気にさせてしまい結果は0-2の敗退となった。

負けた時は悔しそうな表情をだったが、トッププレイヤーとの試合は得難い経験になったに違いない。恵まれた体格を活かしたパワフルなプレー、これからの活躍がとても楽しみ。応援しています！



シングルスでの内島さん。
身長171cmからの鋭いサーブは見応えがあった

ペアの林選手とは、常に笑顔でコミュニケーション。相手ペアが、思いのほか(たぶん)先行されて真剣な表情だったのとは対比的だった



内島萌夏さん



9/15

シングルス予選 1回戦

メインアリーナ	第4試合		1	2	3
● ウージニー・ブシャール (CAN)			6	6	
[WC] 内島 萌夏 (JPN)			1	1	

9/17

ダブルス 1回戦

ドーム	第3試合		1	2	3
● アンドレア・フラバチコバ (CZE) バルボラ・ストリコバ (CZE) [1]			6	6	
[WC] 林 恵里奈 (JPN) 内島 萌夏 (JPN)			4	0	

日比野菜緒さん

シングルス予選を2勝、 東レパンパシフィックオープン本戦へ初進出！

日比野さんのシングルス予選の初戦は日本の瀬間選手が相手となった。日本女子ランキングで2位(世界ランキング130位)の日比野さんが試合最初から実力を発揮、6-0 6-0と完全勝利して貫禄を見せた。翌日行われた2戦目はポーランドのリネッテ選手(65位)。日比野さんは第1セットを先取したが第2セットはタイブレークに追い込まれてしまった。しかしファイナルセッ

トは流れを取り戻して、見事本戦トーナメントへの初出場を決めた。

本戦での初戦は世界ランキング30位のチブルコバ選手。第1ゲームを1-6と落としたが、第2ゲームを競り取った。ファイナルゲームは一步及ばなかったが、苦しい中でも粘りを見せた価値ある試合だった。

さらに日比野さんは連戦4日目となる18日に、ダブルス

でジョージア出身カラシニコア選手とペアを組んで登場。セットカウント1-1後のスーパertайブレークで惜しくも敗北となり2回戦進出とはならなかった。

4日連続の試合を、タフに最後まで戦い抜いた日比野さん。プロの厳しさと、その世界でさらなる高みを目指し続ける日比野さんの覚悟を見せてもらった。これからも応援しています！



一球一球を繋いで手にした勝利で、やっと笑顔に！(シングルス予選2戦目)



日比野菜緒さん

9/15

シングルス予選 1回戦

メインアリーナ	第3試合		1	2	3
瀬間 詠里花 (JPN)			0	0	
● 日比野 菜緒 (JPN)			6	6	

9/16

シングルス予選 2回戦 (本戦出場決定戦)

メインアリーナ	第2試合		1	2	3
マグダ・リネッテ (POL)			2	7	3
● 日比野 菜緒 (JPN)			6	6(3)	6

9/17

シングルス 1回戦

メインアリーナ	第4試合		1	2	3
日比野 菜緒 (JPN)			1	7	3
● ドミニカ・チブルコバ (SVK)			6	5	6

9/18

ダブルス 1回戦

ドーム	第3試合		1	2	3
● ラケル・アタウォ (USA) アンナレナ・グローネフェルト (GER) [4]			6	3	10
日比野 菜緒 (JPN) オクサナ・カラシニコワ (GEO)			1	6	3